

# 常任委員会クローズアップ 総務文教常任委員会のうごき

音更町の自校給食（校舎内で調理）を視察  
～道内先進地視察調査（令和5年10月31日）～

十勝管内で唯一、自校給食を実施している音更町を訪れ、取組について説明を受けました。また、音更小学校の調理場を視察し、栄養教諭から学校現場における調理と児童の食育のかかわりについての話を伺いました。

音更町の自校給食は、小学校11校、中学校5校の計16校、町内全小中学校で実施しています。栄養教諭4人が分担して、各学校の給食の管理、食育指導を行うとともに、町内統一献立を作成しています。

自校給食の最大のメリットは、調理時間になると学校中においしい香りがあふれ、子どもたちが給食をより身近に感じることができること、調理員との触れ合いの中で自分たちの給食が目の前でつくられていることを実感し、感謝の気持ちを持つことができることでした。

また、生産者、調理員、子どもたちをつなぐかけ橋にと、栄養教諭が独自に動画を作成し、子どもたちに見てもらおう取組も紹介されました。動画は、メニューの由来、作り方、食材などについて楽しく学べる内容で、調理をおいしくするための工夫など、調理員と子どもたちの距離がより近くなっていることが感じられるものでした。

アレルギー対応については、調理室の区割りや調理員の確保などの課題があり、代替食および除去食の提供ができていませんが、自校給食は学校内に調理室があることで、「食べること」の関心を育み、毎日の学校生活が食育につながる環境となっています。

## ◆委員からの質疑（抜粋）

Q：自校方式を継続している理由は。

A：食と地域への理解を深める取組として町内からも非常に効果の高いものと評価され、センター方式の導入については検討していない。

Q：地場産食材の使用状況は。

A：原則として地場産を使用。お米は道内産、肉は管内または道内産、パンの小麦は町内産、野菜は4分の3が町内、管内、または道内産の食材。



音更小学校内の給食調理場



栄養教諭が作成したビデオ動画

表紙写真を  
募集して  
います!!

幕別町内での身近な暮らしの出来事や行事、風景などを募集しています。スマホカメラでの撮影写真も歓迎します。お名前、撮影場所やタイトル、コメントも添えて右のQRコード、メールアドレスからご応募ください。  
締切は、令和6年5月10日（金）です。

議会メール以  
gikaijimukyoku@town.makubetsu.lg.jp



## コラム

今まで読む側から新人議員となり議会広報広聴委員として、この議会だよりを担当する側となりました。発刊にあたりましては、皆さまが思わず手に取っていただける紙面づくりに常々工夫し、日頃の議員活動や町の課題の提起、施策等をお伝えするとともに、より身近な議会として感じていただける「議会だより」となりますよう努めてまいります。

町民皆さまもお気軽にお声をお寄せいただけましたら幸いです。

塚本逸彦

議会広報広聴委員会  
委員長 小田新紀  
委員 畠山美和

副委員長 石川康弘  
塚本逸彦 長谷陽子 酒井はやみ 藤谷謹至 藤原 孟

## ご意見を お寄せください

議会だよりをより良い紙面にしていくためみなさんのご意見やご感想をお待ちしています。また、議会への質問やご意見もお寄せください。



議会ホームページ



議会メール以